

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動に関する調査	地区民協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
1	下関市	長府東	○	○					主任児童委員を中心に、毎週水曜日に長府東公民館の図書館を借りて、児童及び保護者を招いて読み聞かせ等を行い交流を図った。年度途中から、見守り及び交流の観点から地域の方も参加できるようにした。	<p>【成果】 小さい子を持つお母さんたちの悩みを多く聞く事ができた。相談も多く、民生児童委員、主任児童委員としてアドバイスをを行うこともできたし、皆さんが色々な悩みを持っているという現状を知ることができた。また、地域の方、特に高齢者の方が参加を非常に楽しみにしていると言われたので、このような場が必要だと改めて思いました。</p> <p>【課題】 課題ではないが、少子化が進んでいると感じた。このままでは、会の参加者も地域の高齢者だけになっていくのではないかと思った。</p>
2	下関市	内日		○	○			○	<p>・地域の子育て支援 月1回、第3木曜日に老人憩いの家で未就学児と保護者と一緒に絵本の読み聞かせや折り紙等々を行います。主任児童委員が中心となります。4～5月はコロナで中止。6月～12月で7回実施。多い時で8名の幼児、保護者が参加しています。</p> <p>・NHK「社会福祉セミナー」のテキストを活用して各々が学習しています。</p> <p>・高齢者グループでの利用は難しく、放課後子ども教室で利用活用</p>	<p>【成果】 ・6～12月は7回でしたが、地域の未就学児、保護者とのつながりが少しずつ出来てきました。</p> <p>・コロナ禍の中、長く検討を重ねることが出来ませんでした。リモート学習にもなったかと思えます。</p> <p>・コロナ禍の中、高齢者の集まりが困難な為、放課後子ども教室で5分間体操をして利用させていただいております。</p> <p>【課題】 ・支所前団地に7～8軒の入居者がありそうです。今後未就学児の保護者とのコミュニケーションが大事になってきます。保育施設のない環境で、どのように子育て支援を行えるかが課題となります。</p> <p>・地区定例会を短時間で終わらせざるを得ない中、児童虐待や8050問題等々身近な課題に焦点を当てて検討をしています。</p> <p>・内日の場合1～9軒までを1箇所ですることが困難なので、各町内でコミュニティーを形成する事が、困難なので、各町内でコミュニティーを形成するのが良いかと思えますので、民生委員・福祉委員が協働して包括支援センターの支援を受けられるようにしたい。</p>

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	児童委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民協同士の実施	新規事業実施の促進		
3	下関市	安岡			○			<p>地区民協組織体制の強化 令和2年12月8日(火)アクトビレッジおの 研修室にて 9時安岡を順次バスにて出発 10時30分現地着11時まで地区民協定例会～アクトビレッジおの 所長白石謙二様を講師にアイスブレイクで人間関係を作る。(民生 児童委員22名参加) 三密を避けるため大型バス(新下関観光バス(株))を使用。 12時野外にてバーベキュー(出張)をグループ(4)に分け昼食 13時～14時研修室にてロープワーク結びの基本、雨具で防寒着を 日常活動に活かせる防災体験学習 14時すぎ終了バスにて帰路</p>	<p>【成果】 コロナ感染症予防対策のため実施が危ぶまれていたが、十分注 意を払い実施した。三密を避け大型バスを利用。研修は日常生活 に役立つ内容で、民生児童委員活動に大いに活用できる和やか な時間であった。なにもかも自粛の中で実施できたことは大きな 成果である。 【課題】 令和2年4月より計画し、12月8日に実施できたことが何も活動でき なかった民協において委員間の資質向上そして親睦、つながり が強化され成果があったと思う。特に新入委員さんには1つ仲間意 識が芽生えたことと思っている。</p>	
4	下関市	吉見	○					<p>全民協委員に(イベントブルゾン、Tシャツ)を作成した。 コロナ感染予防のため、外部に向けての訪問研修や活動が困難 だったので地区民協全委員にお揃いのユニフォームとTシャツを 誂えた。それを着用して訪問活動を実施したり、地区行事に参加 することにより、地域の皆さんに民協活動をPRし、浸透を図るよ うにした。 各月地区定例会、おせち配布時などに着用</p>	<p>【成果】 各委員が訪問活動をしたり、地区民協定例会や地区の行事・集 会に参加する時、着用を心がけ、民協活動をアピール、浸透を 図れた。 【課題】 各委員が活動時に着用を忘れないように心掛けることが大切だ と思う。</p>	
5	下関市	豊北			○			<p>①研修会 日時:令和2年11月6日(金) 参加者:16名 実施内容:「不登校の子どもたち」と題して、外部講師による若者 の不登校・ひきこもりについて研修を実施した。その後、中学校運 営協議会が実施する地域開放講座に参加し、中学生と一緒に体 操などを体験した。 ②研修会 日時:令和2年12月2日(水) 参加者:14名 実施内容:外部講師による障害者福祉についての研修を実施し た。</p>	<p>【成果】 不登校の子ども達の想い、その親の想い、親が受ける周囲からの 声、相談者の視点を交えた講演で、対応の仕方や現在の状況に ついて学習し、後半は、中学校実施による講座に参加し、地域生 徒との交流を行った。また、障がい者福祉についての制度や福祉 政策についての理解を深めた。 【課題】 当地区には、1期目の民生児童委員が多数おり、積極的に研修会 を実施していきたいが、新型コロナウイルス感染状況により講師の 選定、日程及び参加人数の調整が苦慮されます。また、現在、訪 問など活動を積極的にできない状況下で、研修内容を活用する機 会が少なくなっています。</p>	

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	児童委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
6	宇部市	楠	○		○				<p>日 時:令和2年12月9日 参 加 者:25名(全員参加) 実施内容:新型コロナウイルス感染の影響で地域行事がすべて中止となったため、高齢者への支援活動の知識を向上させることを目指して介護福祉用品を貸出しておられる、下関市のホームケアサービス山口 下関店を研修視察することにした。 貸切バスを利用して、船木ふれあいセンターを9時に出発し、昼食は取らず、12時帰着できる計画で、車内では換気に気を付け実施し、現地では約1時間研修視察することができた。</p>	<p>【成果】 ホームケアサービス山口では、倉庫が展示場となっており、展示場では、会社の概要説明があった。説明後、2班に分かれて、レンタル商品の洗浄殺菌設備を見学したが、徹底した洗浄殺菌装置で処理後も、ポリエチレンフィルムで密封されていたので、新品を購入しなくてもレンタル商品でも安心して使用できると感じた。 自宅で介護を受けながら生活しても、便利なレンタル商品がたくさんあるので、気軽に相談されれば、最適な介護用品をアドバイスしていただけることを高齢者に情報提供したい。また、要介護のランクにより、手軽な金額でレンタルできるので、そのことも、高齢者に伝えたいと思った。</p>
7	宇部市	小野		○			○	<p>○児童育成・子育て支援活動の推進 学童の保育を担う「地区学童保育」及び「放課後子ども教室」からコロナ対策への支援相談を受け、加湿器購入費用及び書籍購入費用の一部として助成を行った。 ○新規事業実施の推進 民生委員・児童委員をより身近に利用してもらうように担当民生委員・児童委員の氏名、電話番号を記載したマグネットシールを作成し、高齢者宅へ配布した。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大により、当初計画した事業が実施できず、年度途中で計画の変更を余儀なくされた。 民生委員・児童委員が、地域の人々にとってより身近に安心して相談できる機関として認識してもらえ一助にはなったと考える。</p>	

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施 民生委員・児童委員の	動の推進に 民生委員・児童委員活動	地区民協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
8	宇部市	二俣瀬			○			○	<p>①福祉施設視察研修 日 時: 令和2年11月2日 参加者: 地区民生児童委員 8名 内 容: (有)てご屋ホーム、デイサービスセンター、自立支援センター視察</p> <p>②二俣瀬地区支え合い活動立上げ検討会 日 時: 令和2年11月26日(11名)、令和2年12月18日(14名)、令和3年1月29日(15名) 参加者: 福祉委員、民生委員、市社協コーディネーター、北部支援チーム、北部地域包括支援センター、市民センター長 計40名(のべ人数) 内 容: 支え合い活動についての説明(検討会議後の民児協会議にてマスク配布を検討)</p>	<p>【成果】 ①民生委員として福祉施設を視察研修して、主に知的障害者の現状を知ることができた。地域出身の利用者がおられ、グループホームで生活し一般就労を頑張っておられる話を聞く事ができ身近に感じられた。 ②支え合い活動の重要性は理解できた。また、部分的ではあるが、福祉委員、民生委員が見守り活動に協力している。民生児童委員協議会にてマスクを購入して福祉委員との合同見守り活動に役立てる様にした。</p> <p>【課題】 ①デイサービスと自立支援センターでは実際の様子と作業の様子を見ることができ、またお話を聞く事ができた。しかし、グループホームでは管理者からの話でイメージはできたが、実際の朝・夕方利用者の様子が見れなかったことが残念であった。 民生委員にとって知的障がい者の一部だけの理解は進んだが、まだ重い知的障がいの方もおられることや、知的障がい者施設で暮らしておられる方がいることも理解しておく必要がある。身体障がい者、精神障がい者、発達障がい者が地域におられることを意識してかかわりを考えていくことが大切である。 ②検討会を通してある程度地域での見守り活動の重要性は福祉委員、民生委員とも共有することはできた。</p>

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修 民生委員・児童委員の	動の推進に 児童委員・児童委員活動	地区民協同士の 交流事業の実施		
9	宇部市	厚東		○				<p>①田植え作業 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、地域関係者や児童全員の参加が困難となり、6月9日に6年生7名が手作業による田植えを行った後、6月10日に圃場の所有者が田植え機により田植えを行った。(参加者15人)</p> <p>②稲刈り作業 9月30日に実施予定であったが、トビイロウンカの被害で全滅状態となって収穫できず、中止となった。</p> <p>③広報活動支援 計画していた収穫祭(オータムスクール)の行事が中止になり、予定通りの支援ができなくなった。そこで、小学校と協議したところ、コロナ禍で減少した地区住民との交流行事を補う意味で、児童会が中心になって学校での生活状況を知らせる広報活動をするのが分かり、事業内容を変更した。活動は、児童会作成の学校新聞(名称は厚東新聞)と広報誌の2種類で行われ、学校新聞7回210部、広報誌2回280部を作成した。</p> <p>④輪飾り作り 12月20日午前9時から小学校体育館において、地区のお年寄りから輪飾りの作り方について指導を受けた後、児童と教職員・保護者が地域の人々とふれあいながら、輪飾り作りを行った。(参加者約80人)</p>	<p>【成果】 新型コロナウイルス感染拡大防止とトビイロウンカの被害のため、事業の内容の一部をしなければならなくなったが、児童が協力して学校新聞を作成し、地区住民に学校の情報を提供できたこと、児童会が発行するカラー印刷の広報誌で地区住民が学校行事の状況を知ることができて、学校での交流と変わらない効果があった。結果的には、どの支援事業も児童の健全育成にふさわしい充実したものとなった。</p> <p>【課題】 今回は予測困難な事象で事業の内容を一部変更せざるを得なくなったが、学校との連携がうまく取れて事業を完遂することができた。地区協議会としては、日頃から関係機関との良好な関係を構築できるような活動を今後も継続実施する必要性を感じた。</p>
10	山口市	大内					○	<p>令和2年度当協議会は活動支援事業実施計画書の通り、地域の最大イベント「大内まつり」4月21日開催へ参加を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症が拡大、4月に入っても依然として終息が見えず「大内まつり」は、急遽中止となりました。本事業は、今後も継続されますために「民生委員の歴史」「活動内容」等の追加パネル展示を予定しておりましたので、追加パネルを作成いたしました。</p>	<p>【成果】 昨年度「大内まつり」は中止となりましたが、本年度は令和3年4月25日(日)第42回「大内まつり」はコロナ禍の中、感染拡大防止対策を行いながらの開催となりました。大内民協の参加会場は、屋内となり展示ブースにおいては民生委員児童委員の活動状況や身近な相談窓口を開設し「PR活動チラシ・シート」の配布をいたしました。来訪者からは、「民生委員100周年歴史」に興味を持たれる等感心されておられました。今後も民生委員児童委員活動を紹介していきたいと思っております。</p>

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民協同士の実施		
11	山口市	大歳					○	<p>①日時 2020年11月16日(月)10:00～12:00 ②場所 岩国市周東町総合センター1向日 多目的ホール ③参加者 周東町16名、大歳17名 ④実施内容 岩国市社会福祉協議会周東支部との交流研修会 ・各民協会長あいさつ ・各民協の概要 ・各民協の活動事例紹介 ・2018年7月、周東町における大雨、土砂崩れ災害発生時における民生委員・児童委員の対応状況について情報交換、意見交換を行った。</p>	<p>【成果】 高齢者や児童に対する対応は、人口の多寡、環境に関わらず共通の課題であることが共有できた。 また、各委員が強い使命感を持って活動していることで、今後の活動の励みとなった。 【課題】 災害発生時における避難行動が困難なひとり暮らし高齢者等の支援について、民生委員・児童委員と地域における他団体との協力的体制構築が急がれる。</p>
12	山口市	嘉川		○	○	○		<p>①児童育成・子育て支援活動の推進 子ども館(しゅぼっぼ)の運営協力 毎月8～10日程度で延べ13名が、乳児の相手と運営会議に参加 ②地区民協組織体制の強化 民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施 10月には特別研修として地区自主防災本部に台風10号避難について、12月には災害時の対応を学ぶ研修会を地区防災士を招き実施した。 人権の学習会と災害について学ぶ研修会を実施した。 2月には地区人権会長を講師に人権学習を実施した。 ③民生委員・児童委員活動の推進にかかる調査活動 乳幼児、児童実態調査(調査期間 5月11日～5月22日) 屋間独居高齢者実態調査(調査期間5月11日～12月末) いずれの調査も民生委員が担当して行った。</p>	<p>【成果】 ①乳幼児の保育の現状を知り、地域での活動の参考となった。 ②災害に対する意識や災害時の対応について、また人権学習では同和や人権は身近な問題であるとの理解をふかめることができた。 ③児童調査は年齢別に実数が把握でき、母推さんとの交流の際に役立つ。また、児童委員としての活動にも活かせる。 屋間独居調査は、災害時の避難対応が目的であったが、普段の活動では接することが少ない住民との接触では、悩みや相談も聞かれ、地域内の現状を知ることができた。 【課題】 全体としては、状況の把握や理解が深まったと言った程度であり、今後の活動にどう活かすかが問われる。 災害が少ない地域であり、住民意識は低く活動が理解されにくい状況にあり、地区内の各組織と連携した取り組みの推進。</p>
13	山口市	佐山					○	<p>民生委員児童委員活動のPRのため、ジャンパーを作成した。 交通安全週間・訪問活動に使用した。</p>	<p>【成果】 これまでは、交通安全運動党の立哨時、黄色のジャンパーを着用していたが、今回新しく作成したものが淡いブルーなので、他のボランティアとの差別化ができ、とても好評であった。会員同士も遠くから判別でき活動しやすい。 【課題】 本年は、コロナ拡大防止のため、地区のすべての活動が中止になり活躍する場に恵まれなかった。令和3年度の交通安全立哨や地区のお祭り、190号線の缶拾い等に使用できればと思う。</p>

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て・児童育成・推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民協同士の交流事業の実施		
14	萩市	旭	○					<p>①民生委員児童委員にとって、数多い資料等を効率的に活用することができることを目的とし、ブック型のファイルや専用バッグ等を購入した。</p> <p>②委員としてのキャリアがまちまちであるため、一体感の醸成を目的とし、専用のジャンパーを購入した。</p>	<p>一期目の委員が全体の40%を占めている中で、資料等の整理・活用に苦慮しておられたが、支給を行ったことにより、一元的な管理ができるようになり、迅速な対応が可能になった。</p>
15	萩市	椿	○					<p>地区内においてさらなる、民生委員児童委員の啓発を行うため、専用のジャケットまた帽子の購入。</p>	<p>地区民生委員児童委員協議会の文字が記入してあるため、啓発を行うことができ、民生委員・児童委員としての意識の向上が図られた。</p>
16	萩市	大井	○	○				<p>ベストを購入、着用し各行事で民生委員児童委員活動の啓発を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ふれあい大掃除 ふれあい作業(学校区内の草刈り、グラウンドの草取り) 全国交通安全運動期間中の立哨 <p>※その他参加団体 地域ボランティアの会・PTA・町内会・老人クラブ・大井小中学校児童生徒</p>	<p>学校、PTA、地域と連携をして事業展開をすることができた。また、作業等を通じて児童生徒と交流を図る事ができた。しかし、今後児童生徒数が減少していく中、学校PTA・地域の他団体と連携して学校の教育環境の整備に協力し、児童生徒の育成・見守り活動に一層取り組みが必要であると感じた。</p>
17	防府市	西浦			○			<ul style="list-style-type: none"> 令和2年11月11日(民生委員12名) 通信教育制度について 誠英高校の通信教育についての制度と現状についての講話 令和2年12月10日(民生委員12名) 成年後見人制度について 市の担当者から制度のしくみと現状について受指導 令和2年11月～令和3年2月(民生委員12名) 定例会における研修会 研修図書を使用し、民生委員活動の役割と活動とは何か、そして今後の活動について話し合いを持った。 研修図書を使用し、福祉(高齢・障がい者・児童家庭等)についての制度や事業について理解を深めた。 	<p>【成果】 外部講師の講話等による研修は新たな知識の獲得となり、研修図書を使用しての研修は、地域福祉について等民生委員とは何か、何をすべきかについて考える良い機会となった。</p> <p>【課題】 日々の仕事だけでなく時には全員で新しい知識や活動について考える必要がある。</p>

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動に関する調査	地区民協同士の交流事業の実施	新規事業実施の促進		
18	防府市	大道		○	○	○		○	<p>・市の高齢者調査に併行して地区独自の高齢者調査を計画していたが、市の調査が中止となり調査を見送った。コロナが一段落した時点で、老人クラブ、社協、自治会、介護関係者を集めて意見を聞き、地区独自の調査を実施したい。</p> <p>・主任児童委員の活躍の場が少ない中、小学校の仮入学(2月)への参列の要請があり、独自のPRラベルを作成し主任児童委員をPRした。</p> <p>・コロナ禍の中、資質向上に向けて、民生委員の基礎知識、相談など12冊の書籍を購入し、定例会で紹介。必要に応じて貸し出しを開始。また、配布、広報紙、民生委員必携、ひろばを当番制で、広報紙の感想意見を配布月の翌月発表してもらうこととした。</p> <p>・スマホでラインを開設した。提案当初(9月)は賛同者が少なかったが、徐々に増えていき、15名中9名の加入(1月)となった。研修会案内で、参加者の有無を尋ねたり、一寸した意見交換を行ったり、助成金申請や報告書を写真に撮りラインに公開した。ただ、オンライン会議を行う迄には至っていない。</p>	<p>【成果】 主だった活動が少なかった主任児童委員に活動が1つ増えた。配布される広報誌を委員皆が読み合い認識を共有することができた。</p> <p>【課題】 これまでの福祉は、一律で受け身的な活動が殆どあったように見える。今後は、一律ではなく地域的、個人的特性を考慮した援助をどのようにして見いだすか。そこに焦点を当てたい。</p>
19	岩国市	東	○	○		○		○	<p>東地区の防犯、防災、治安の向上を図るため、空家状況の調査 東地区児童育成のため、小学校との連携による支援活動</p>	<p>空家調査により各委員担当地区の現状認識が一層高まった。小学校との連携がとれ、児童の状況把握がしやすくなった。</p> <p>【課題】 新入生への入学祝贈呈では学校及び子どもの親に大変喜ばれました。</p>
20	岩国市	麻里布			○				<p>1 高齢者虐待問題について 7月7日(火)包括支援センターより説明を受ける。参加者33名。</p> <p>2 麻里布小中学校との情報交換会 6月5日(金)麻里布小中学校の校長及び生徒指導との子どもの健全育成について意見交換を実施した。参加者34名。</p> <p>3 189サポーター研修会 3月5日(金)山口県子ども家庭課より、子どもの虐待問題について研修を受けた。参加者34名。</p>	<p>【成果】 子どもの子育てに関する問題、家庭内での虐待問題について、よく理解できた。</p> <p>【課題】 問題発生部署への民生委員としての関連方法。</p>

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修 民生委員・児童委員の	民生委員・児童委員活動 の推進に関する調査	地区民協協同士の 交流事業の実施	新規事業実施の促進		
21	岩国市	岩国	○	○					<p>新しく交通立哨活動・児童への声掛け活動に参加した委員活動への意識向上を図る。 国・県・地方の警察主導で行われている交通運動期間を中心にして、毎月10日前後を目安にして活動を行っている。現在21人の委員がこの活動に励んでいる。</p>	<p>【成果】 この活動に以前から携わっている先輩委員から、新規参入の委員に事前の説明をしてもらっており、交流と共に意思の疎通を図る点でも良い成果が見られている。小学校校長からも感謝の声が寄せられた。 【課題】 民生委員の多くは高齢者が多く、夏の暑い時期や冬の厳寒の時期など委員個人の健康管理にも注意が必要である。委員個人の健康が第一なので、体調が悪い時などは、立哨活動欠席を告げる勇気も必要と感じる。</p>
22	岩国市	平田	○		○			○	<p>【目的】 ①民生委員・児童委員の資質向上を図る。 ②自治会長・社会福祉協議会の役員・学校・地域社会の連携を構築するため ③高齢者が地域で孤立化する事を防止するため ④地域に根ざした民生委員・児童委員としての活動を紹介する 【事業内容】 ①平田地区の学校、自治会連合会、社協、民児協による挨拶運動推進事業に参加 日時：令和2年10月1日、12月1日、令和3年2月1日 場所：平田出張所前交差点、平田中学校前、中央フード前、東京理容院前、向山交差点、すみれが丘交差点、以上6か所の交差点でジャケットを着用し、のぼり旗8本を掲示して活動した。 人数：平田地区全民生委員19名 ②民生委員だより発行 日時：11月12日に第1号発行、3月12日に第2号を発行 人数：編集委員7名で編集作業 場所：自治会を通じて平田地区全家庭及び公的機関、老人ホーム等約4,000部を配布</p>	<p>【成果】 ①民生委員児童委員としての責任と自覚が増幅された。 ②民生委員児童委員としての行動力を表現することができた。 【課題】 ①参加していない地域の方々への積極的なアプローチの方策 ②コロナ禍の中困っているの方々へSOSの発信方法等が民生だよりを通じてどのくらい届いているか</p>
23	岩国市	美和	○		○				<p>1 日 時 令和2年9月9日(水) 午前9時から11時 2 参加者 美和地区民生委員児童委員協議会 23名 3 場 所 ハーモニーみわ(美和文化会館) 4 内 容 ハンセン病問題について(DVDの視聴) ハンセン病問題の理解するための解説 ハンセン病療養所で受けた私の被害 家族、親族への思い</p>	<p>【成果】 ハンセン病問題について基礎知識のほか、被害者の体験談も学ぶことができた。 【課題】 コロナ禍の研修であったため、施設研修や講演会の実施が難しく、関係者との質疑応答ができなかった</p>

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員の活動	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民協同士の交流事業の実施		
24	長門市	俵山	○					○	<p>コロナ禍のため他地区のサロン運営視察は難しいので、サロン運営支援のため指導者の手配を行った。 学校や施設への訪問が行えなかったため、予防対策を行いながら担当地区内の状況確認を行い、意見交換を行った。</p>	<p>【成果】 コロナ禍内でもサロン運営を活性化することが出来た。地区内の状況を再確認し、意見交換を行うことで俵山地区全体の問題点等を各民生委員が確認することができた。</p> <p>【課題】 地区内の高齢化率がますます高まり、一人暮らしの高齢者世帯が増加しているため、見守り活動やサロン活動を積極的に行っていきたいが、コロナ感染症予防対策を行いながら活動を行うことが大変難しいことを認識した。</p>
25	柳井市	余田			○			<p>・令和2年11月19日 参加者6名 コロナウイルス感染予防のため、室内の見学はできなかったが、地域福祉・高齢者福祉事業を展開している社会福祉法人から「地域と一緒につくる地域共生社会」というテーマで話を聞いた。 ・令和2年12月17日 参加者6名 障がいを持つ児童生徒を対象に、将来の自立に向けて必要な基礎的学力や生活力を身につける支援をしている放課後等デイサービスの取り組みを聞いた。</p>	<p>・民生委員児童委員として、国の政策の動向に目を向け、デイサービスから在宅介護を中心とした総合的な福祉にどうかかわっていけるか考えさせられた。 今年には特に新型コロナウイルス感染予防の点から、高齢者福祉の大切さを感じた。 ・障がいを持つ児童生徒支援の考えが進み、対象者や利用者の増加に対し、対応できる施設が少ないということであった。保護者の支援、学校との連携も大切で民生委員児童委員の関わり方を考えさせられた。</p>	
26	美祢市	厚保			○			<p>・セーフティライフセミナー～交通・防犯編～ 令和3年1月12日(火)(委員9名参加) 「自分の身は自分で守る」 さまざまな手口のうそ電話詐欺やだましとる手口など、すべての事件、事故などについて未然防止と初動対応の重要性について研修を受ける。 ・認知症サポーター養成講座 令和3年3月8日(月)(委員10名参加) 「認知症を正しく知ろう」 認知症は自分たちの問題であるという認識を持ち、認知症の人を支援するためには、認知症への正しい理解に基づきさりげなく自然に対応することの必要性について研修を受ける。</p>	<p>今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が続く状況下で、感染拡大防止対策のために、各種研修会の開催や社会福祉施設等の視察研修が実施できなかった。 急遽、上記研修を実施し、委員相互の情報共有を図るとともに、知識の習得と資質向上を図ることができたことで、今後のさらなる活動強化が期待できるものと思う。 なお、委員の地域福祉活動の研鑽の一助として、関連書籍を2冊購入して配布を行った。</p>	

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業						事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化							
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進 児童育成・	資質向上に向けた研修 民生委員・児童委員の	民生委員・児童委員活動 の推進に関する調査	地区民協同士の 交流事業の実施	新規事業実施の促進		
27	周南市	岐山	○	○				<p>・各地区のサロン等での百歳体操へ参加するために、参加するときに自動血圧計で計測する。</p> <p>・コロナのために、施設で体験することが難しかったが、小学生と船方農場に行き親睦を深めた。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各サロンで参加するときに使えて、自前で用意しなくてすむようになり、良かった。 雨の中でしたが、小学生が楽しく過ごす姿が見られ実施して良かったと思います。また、先生とも親睦を深められた。 <p>【課題】</p> <p>貸し出しの仕方をきちんとする。</p> <p>コロナの関係で募集人数を絞ったが、予定の人数より多く募集があったためバス2台にして実施した。</p>	
28	周南市	今宿	○	○				<p>事業計画では今宿カフェに会場される方や、関係機関の方々と共に学び、交流を深め、特に福祉委員さんとの連携を深める予定であったが、新型コロナウイルス感染症対策が求められる中、当初とは少し変わった形での事業実施となった。</p> <p>令和2年10月14日「コロナ禍の中、心豊かに過ごす」と銘打った文化講演会を、聴講者を民生委員と福祉委員さんに限定し、会場も密を避けるため住吉中学校の体育館を借りて行った。中学校側の要望もあり、聴講者の名簿管理を確実に言い、万への対応に気を配った。聴講者は、71名。</p>	<p>【成果】</p> <ul style="list-style-type: none"> 時節柄、息を潜めるようにして暮らす中でも笑顔を取り戻し少しでも明るい気持ちになってもらうことができた。聴講後の講師への質問も活発に行われ、来場者に笑顔が見られたことが何よりの成果。また、講演会の周知や聴講者名簿の作成に今宿社協の協力を得ることができた。 <p>【課題】</p> <p>当初は特に福祉委員さんとの意見交換を初めとした交流を目論んでいたものの、様々な制約により聴講のみになったことが課題。</p>	
29	周南市	須々万	○				○	<p>事業①「65歳以上のお一人暮らしの方へ使い捨てマスク・コロナ感染防止と詐欺等の注意喚起情報のチラシを配ろう！」～高齢者調査とともに～</p> <p>目的: コロナ禍の中で地域の65歳以上のお一人暮らしの方へ、新たな詐欺に合わないよう消費者支援センターのチラシと、コロナウイルス感染防止対策のチラシとともに使い捨てマスクを送って注意喚起をすることを目的とする。</p> <p>実施時期: 10月下旬～11月中旬</p> <p>対象者: 65歳以上で一人暮らしの方(約150名)</p> <p>実施内容: 「65歳以上のおひとり暮らしの方へ使い捨てマスク・コロナ感染防止と詐欺等の注意喚起情報のチラシを配ろう！」～高齢者調査とともに～</p> <p>該当者の方へ原則手渡し(委員はマスク着用、手指消毒をする)ポストインもある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 地区の65歳以上のお一人暮らし方へ、新型コロナウイルス感染拡大防止のための使い捨てマスクや予防対策のチラシをもって活動をした。 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、基本はポストインでの活動を行った。 	

令和2年度地区民生委員児童委員協議会活動支援事業

建成順	市町名	地区	実施した事業					事業内容	事業実施に対する自己評価
			地区民協体制強化						
			地域福祉活動の推進	子育て支援活動の推進	民生委員・児童委員の資質向上に向けた研修の実施	民生委員・児童委員活動に関する調査	地区民協同士の交流事業の実施		
30	周南市	大津島	○				○	<p>・高齢者の見守り活動の強化 新型コロナウイルス感染拡大防止のため電子検温計で体温を計ったうえで、見守り活動を実施した。※随時</p> <p>・地区行事(敬老会)代替行事の充実 敬老会行事(中止)の代替事業として、高齢者の生活必需品を配布するとともに、生活実態の把握を行った。※令和2年9月16日</p> <p>・他地区民協との交流研修会の実施 ①桜木地区民協との交流会にて、両地区の現状を報告し共通する問題点について活発な意見交換を行った。※令和2年10月24日(土)10時30分～シビック交流センター18名 ②柳井市伊保庄地区民協との交流会にて、両地区の現状を報告し共通する問題点について活発な意見交換を行った。※令和2年11月12日(木)10時00～回天記念館研修室12名</p>	<p>【成果】 新型コロナに注意しながら高齢者実態調査などの活動を行った。また、周南市内の他地区民協との交流や柳井市伊保庄地区民協との交流会により、それぞれの課題や問題の解決方法を模索するなど、活発な意見交換を行うことができた。</p> <p>【課題】 高齢化による対象者等の増加により当組織の役割は重要であるが、過疎化に伴う担い手不足が進む状況にあり、将来において活動を継続するには大変厳しい状況であることに変わりはない。</p>